

ダイワ／ミレーアセット 亜細亜株式ファンド

運用報告書(全体版) 第 7 期

(決算日 2019年 7 月22日)

(作成対象期間 2019年 1 月22日～2019年 7 月22日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	5 年間（2016年 1 月21日～2021年 1 月20日）		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジア・オセアニアおよび日本のアジア・ワン企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

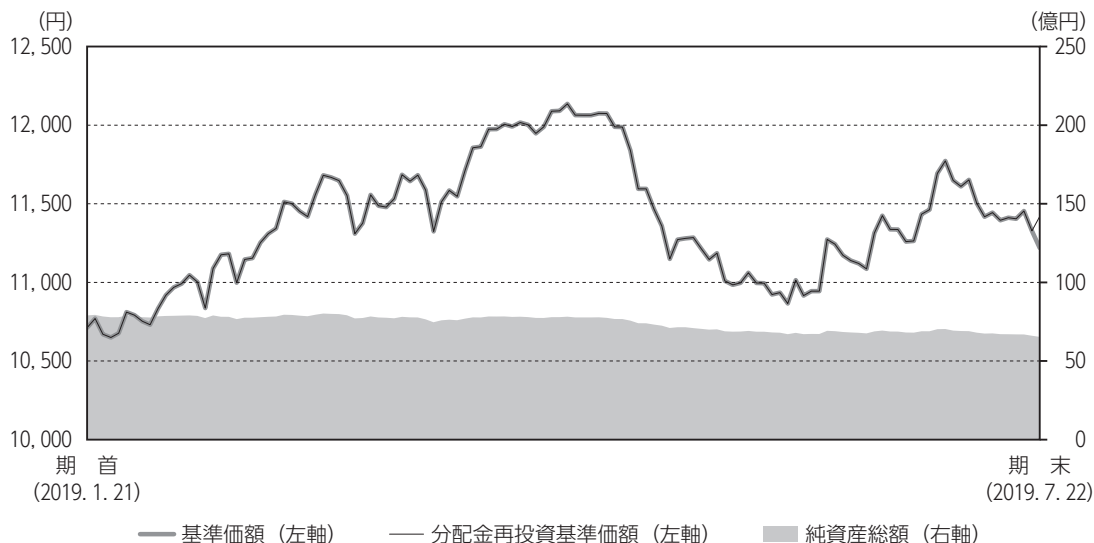
決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3 期末 (2017年 7 月20日)	11,691	350	17.1	13,566	12.2	0.0	97.6	20,986
4 期末 (2018年 1 月22日)	13,317	550	18.6	15,679	15.6	—	98.6	13,654
5 期末 (2018年 7 月20日)	12,743	0	△ 4.3	14,516	△ 7.4	—	99.0	10,574
6 期末 (2019年 1 月21日)	10,712	0	△ 15.9	13,332	△ 8.2	—	99.0	7,898
7 期末 (2019年 7 月22日)	11,219	200	6.6	14,001	5.0	—	99.0	6,534

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC Asia Pacific 指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：10,712円

期 末：11,219円（分配金200円）

騰落率：6.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

欧米の金融緩和観測や中国政府による景気刺激策期待などから、アジア・オセアニア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I A C Asia Pacific 指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年 1 月21日	円	%		%	%	%
	10,712	—	13,332	—	—	99.0
1 月末	10,731	0.2	13,365	0.2	—	98.3
2 月末	11,452	6.9	14,091	5.7	—	98.3
3 月末	11,547	7.8	14,047	5.4	—	99.1
4 月末	11,990	11.9	14,480	8.6	—	99.4
5 月末	10,995	2.6	13,340	0.1	—	99.1
6 月末	11,434	6.7	13,899	4.3	—	98.3
(期末) 2019年 7 月22日	11,419	6.6	14,001	5.0	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019. 1. 22 ～ 2019. 7. 22)

■アジア・オセアニア株式市況

アジア・オセアニア株式市況は上昇しました。

アジア・オセアニア株式市況は、当作成期首より、米国の利上げ休止観測や中国政府が減税策など景気刺激策を打ち出すと報じられたことなどを受けて、上昇して始まりました。2019年5月には、トランプ米国大統領が対中関税率の引き上げを表明するなど米中貿易問題に対する不透明感などから調整しましたが、6月以降は、欧米の金融緩和観測や中国政府による景気刺激策に対する期待感から、株式市況は再び上昇基調となりました。

■日本株式市況

日本株式市況はレンジでの推移となりました。

日本株式市況は、当作成期首より、米国の利上げ休止観測が好感されたほか、2019年2月には閣僚級協議の開催などにより米中通商協議の進展期待が高まったことで、上昇して始まりました。上昇一服後は一進一退で推移したものの、5月に入り、米国が中国製品への関税率の引き上げや対象範囲の拡大方針を発表したこと、また中国の通信機器大手メーカーに対する取引制限措置を実施したことなどにより不透明感が高まり、株価は下落しました。下落一巡後は、通商問題の不透明感が残るものの、米国や欧州の中央銀行高官が金融緩和の可能性を示唆したことが好感されたこともあり、株価は横ばい圏で推移しました。

■為替相場

アジア・オセアニア通貨の対円相場は、まちまちの展開となりました。

香港ドルは米ドルペッグ制（米ドルに連動させる為替政策）を採用しているため、米ドルに連動した値動きとなり、米中対立に関する報道や米国の利下げ観測の高まりなどを受けて、対円で下落しました。一方でインド・ルピーは、モディ首相の続投により政治的不透明感が弱まったことなどが支援材料となり、堅調に推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

※ＡＰエクイティ・ファンド：ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、消費拡大から恩恵を受ける中国の電子商取引関連銘柄やハイテク関連銘柄、相対的に高い利益成長が見込まれるインドのリテール向け銀行などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

世界景気の先行きや貿易問題、米国の利上げが实体经济に与える悪影響などへの懸念から、国内株式市況は調整しましたが、株価の下落ペースが速く悪材料を相応に織り込んだと思われること、東証一部の平均ＰＢＲ（株価純資産倍率）が解散価値といわれる１倍に近づき割安感が高まったことなどから、次第に株価の落ち着きどころを探る展開になると想定しています。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行ってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に引き続き注目してまいります。また、企業業績を押し下げた要因であった原材料高はすでにピークアウトしており、競争力のある製品・サービスについては価格転嫁が進んでいるなど、今後の業績を見る上では明るい材料を抱える企業も散見されます。悲観的な見方が広がる局面においては、こうした収益の改善が期待されながらも割安な水準にある銘柄の投資機会と捉え、調査・発掘に努めてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019. 1. 22 ~ 2019. 7. 22)

■当ファンド

当ファンドはA Pエクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。A Pエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することをめざしました。

■A Pエクイティ・ファンド

アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、定量・定性分析に基づいてミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定しました。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資しました。国別構成では、中長期的な消費拡大が期待された中国やインドを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、HDFC BANK（インド、金融）、TENCENT HOLDINGS（中国、コミュニケーション・サービス）などを高位に組み入れました。

・日本株式

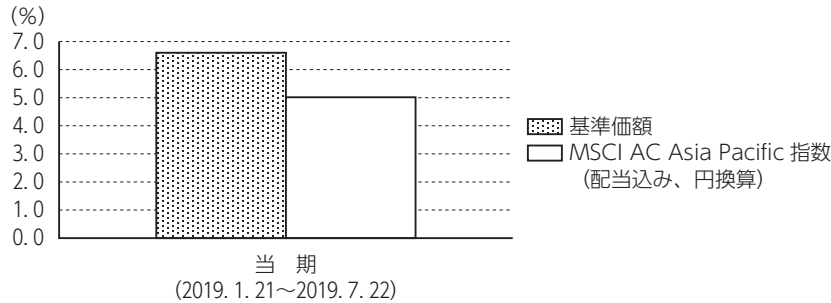
業種構成は、新興国の中長期的な消費拡大に注目し、その恩恵を受ける生活必需品セクターや、付加価値の高い製品の供給によってアジアの製造業の成長を支える素材セクターなどを参考指数と比較してオーバーウエートとしました。個別銘柄では、業績見通しや株価指標、アジア展開の潜在力などを総合的に勘案し、ダイキン工業、ピジョン、パン・パシフィックHDなどを高位に組み入れました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。
参考指数はアジア・オセアニアおよび日本の株式市況の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の 1 万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1 万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1 万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1 万口当り）

項 目	当 期	
	2019年 1 月22日 ～2019年 7 月22日	
当期分配金（税込み）	（円）	200
対基準価額比率	（％）	1.75
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	200
翌期繰越分配対象額	（円）	3,037

（注 1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注 2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注 3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1 万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	549.05
(d) 分配準備積立金	✓ 2,688.91
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	3,237.97
(f) 分配金	200.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	3,037.97

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、ＡＰエクイティ・ファンドおよびダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、ＡＰエクイティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することを基本とします。

■ＡＰエクイティ・ファンド

引き続き、ミレーアセット社と大和投資信託で連携して運用を行ってまいります。アジア・オセアニア株式と日本株式の比率は、ミレーアセット社と大和投資信託で構成されるファンド委員会で決定いたします。

・アジア・オセアニア株式

トップレベルのマーケットシェア、優れた市場開拓力、独自の技術・開発力、高い経営の質を有しているアジア・ワン企業に投資してまいります。ミレーアセット社による独自のスコアリングやボトムアップ・アプローチにより、アジアの成長の恩恵を享受することで、持続的な利益成長の実現が期待される銘柄に注目してまいります。個別銘柄では、相対的に高い利益成長が見込まれるインドのリテール向け銀行、消費拡大から恩恵を受ける中国の電子商取引関連銘柄や教育関連銘柄などに投資妙味があると考えます。

・日本株式

米国や欧州の中央銀行高官が金融緩和の可能性を示唆するなど投資家心理の改善が期待される一方、悪化傾向にある各国経済指標の動向や国内の企業業績の見通し悪化懸念など株価の下値リスクも警戒され、国内株式市場は国内外の政治・経済のイベント次第では上にも下にも振れやすい局面が続くと想定されます。

個別銘柄の選定にあたりましては、ファンドコンセプトに基づき、マーケットシェア、高い技術力・開発力、優れた市場の開拓力、高い経営能力など、中長期的な視点に軸足を置いた銘柄選別を行ってまいります。とりわけアジアの中間所得者層の消費拡大が続くとの見方に変わりはなく、その恩恵を受ける消費関連企業に引き続き注目してまいります。５Ｇ（第５世代移動通信システム）設備やロボット・省人化への投資、キャッシュレスサービスなど中長期的なテーマ性を有する銘柄の発掘に努めてまいります。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 1. 22～2019. 7. 22)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	69円	0. 608%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11, 390円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0. 188)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(46)	(0. 404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	70	0. 613	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

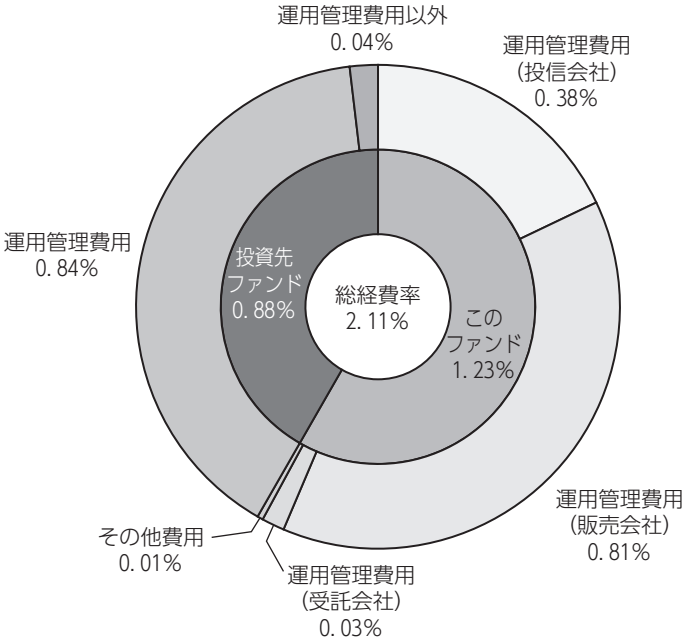
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.11%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.11%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。
- (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
- (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2019年1月22日から2019年7月22日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	—	—	14,896,2547518	1,900,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

(2019年1月22日から2019年7月22日まで)

当 期				期 付			
買 付		売 付		銘 柄		口 数	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND (ルクセンブルグ)	14,896,2547518	1,900,000	127

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年1月22日から2019年7月22日まで)

決 算 期	当 期			期 付		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	250	250	100.0	—	—	—
コール・ローン	7,765,212	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ルクセンブルグ) MIRAE ASSET GLOBAL DISCOVERY FUND-MIRAE ASSET NEXT ASIA PACIFIC EQUITY FUND	50,060.4786819	6,471,568	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,958	9,958	9,975

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年7月22日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	6,471,568	95.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	9,975	0.1
コール・ローン等、その他	264,369	4.0
投資信託財産総額	6,745,912	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年7月22日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,745,912,771円
コール・ローン等	264,369,286
投資信託証券（評価額）	6,471,568,381
ダイワ・マネースtock・マザーファンド（評価額）	9,975,104
(B) 負債	211,821,870
未払収益分配金	116,486,907
未払解約金	49,861,855
未払信託報酬	45,171,628
その他未払費用	301,480
(C) 純資産総額（A－B）	6,534,090,901
元本	5,824,345,399
次期繰越損益金	709,745,502
(D) 受益権総口数	5,824,345,399口
1万口当り基準価額（C／D）	11,219円

* 期首における元本額は7,373,213,831円、当作成期間中における追加設定元本額は13,981,453円、同解約元本額は1,562,849,885円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,219円です。

■損益の状況

当期 自 2019年1月22日 至 2019年7月22日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,567円
受取利息	3,372
支払利息	△ 34,939
(B) 有価証券売買損益	456,519,848
売買益	547,208,481
売買損	△ 90,688,633
(C) 信託報酬等	△ 45,480,544
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	411,007,737
(E) 前期繰越損益金	95,436,068
(F) 追加信託差損益金 （配当等相当額）	(319,788,604 297,658,683)
（売買損益相当額）	(22,129,921)
(G) 合計（D＋E＋F）	826,232,409
(H) 収益分配金	△ 116,486,907
次期繰越損益金（G＋H）	709,745,502
追加信託差損益金 （配当等相当額）	(319,788,604 297,658,683)
（売買損益相当額）	(22,129,921)
分配準備積立金	1,449,630,943
繰越損益金	△ 1,059,674,045

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	319,788,604
(d) 分配準備積立金	1,566,117,850
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,885,906,454
(f) 分配金	116,486,907
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,769,419,547
(h) 受益権総口数	5,824,345,399口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	200円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド）は、ルクセンブルグ籍の外国証券投資法人「ミレーアセット・グローバル・ディスカバリー・ファンド」が発行する「ミレーアセット・ネクスト・アジア・パシフィック・エクイティ・ファンド（円クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年7月22日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

純資産計算書（2018年3月31日現在）

	(USD)
営業投資有価証券取得原価	78,444,425
未実現評価損益	30,155,546
営業投資有価証券時価評価額	108,599,971
現金	2,475,952
未収利息および未収配当金	315,754
営業投資有価証券売却に係る未収入金	302,030
資産合計	111,693,707
営業投資有価証券買付に係る未払金	382,705
未払費用	113,280
負債合計	495,985
純資産	111,197,722
BクラスUSDシェア 1口当りの純資産	13.35
JクラスJPYシェア 1口当りの純資産	137.46
BクラスUSDシェアの発行済み口数	165,604,041
JクラスJPYシェアの発行済み口数	84,490,629.532

損益計算書および純資産変動計算書 (2018年3月31日に終了した会計期間)

	(USD)
期首純資産	456,480,648
配当金（源泉徴収税控除後額）	1,977,787
受取利息	39,989
収益合計	2,017,776
管理会社報酬	76,184
運用会社報酬	1,220,882
預託手数料	158,045
監査および弁護士費用	42,234
管理および会計費用	67,538
登記および名義書換事務代行費用	16,200
引受税	16,629
出版・印刷費	421
その他の税	500
取引関係費	799,964
その他の費用	39,533
費用合計	2,438,130
投資による純利益 / (損失)	(420,354)
純実現利益 / (損失)	
営業投資有価証券売却に係る	72,524,327
先物為替予約取引に係る	(5,958)
外国為替に係る	(535,182)
未実現評価損益の純増 / (減)	
営業投資有価証券に係る	(11,852,551)
運用に係る純資産の期中純増 / (減)	59,710,282
解約に対する支出	(404,993,208)
設定解約による純収入 / (支出)	(404,993,208)
期末純資産	111,197,722

2018年3月31日現在の投資スケジュール（米ドル建て）

数量	内容	評価額	純資産に 占める 割合 %
取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品			
	株式		
67,800	AIA Group Limited	573,621	0.52
35,669	Alibaba Group Holding Limited	6,381,542	5.74
88,512	Apollo Hospitals Enterprise Limited	1,444,800	1.30
108,304	Asian Paints Limited	1,860,443	1.67
615,500	Bangkok Dusit Medical Services pcl - NVDR	462,567	0.42
387,300	Bank Central Asia Tbk Pt	655,420	0.59
36,499	Britannia Industries Limited	2,781,561	2.50
132,000	Byd Company Limited	1,029,326	0.93
60,000	Casio Computer Company Limited	880,589	0.79
434,500	China Merchants Bank Company Limited - H	1,779,910	1.60
6,025	CSL Limited	718,642	0.65
7,854	Ctrip. com International Limited - ADR	362,619	0.33
24,500	Daifuku Company Limited	1,423,121	1.28
15,600	Daikin Industries Limited	1,704,705	1.53
21,100	Daiwa House Industry Company Limited	799,925	0.72
6,900	Disco Corp.	1,445,202	1.30
45,600	Don Quijote Company Limited	2,584,563	2.32
17,000	Eisai Company Limited	1,082,550	0.97
4,620	E-Mart Company Limited	1,172,440	1.05
145,000	Galaxy Entertainment Group Limited	1,316,377	1.18
7,511	Genexine Company Limited	720,162	0.65
103,400	Godrej Consumer Products Limited	1,733,796	1.56
207,721	Hangzhou Hikvision Digital Technology Company Limited	1,373,311	1.24
204,900	Han's Laser Technology	1,726,784	1.55
96,950	HDFC Bank Limited	2,861,393	2.57
54,699	Hindustan Lever Limited	1,118,207	1.01
11,700	Hitachi Transport System Limited	324,106	0.29
340,000	Hon Hai Precision Industry Company Limited	1,049,488	0.94
114,000	Hua Hong Semiconductor Limited	225,727	0.20
56,900	Isuzu Motors Limited	859,119	0.77
8,122	JD. com Inc. - ADR	324,961	0.29
195,574	Jiangsu Hengrui Medicine Company	2,579,774	2.32
9,105,300	Kalbe Farma Tbk Pt	991,977	0.89
218,000	Kaneka Corp.	2,145,938	1.93
12,200	M3 Inc.	551,813	0.50
54,400	Mandom Corp.	1,876,037	1.69
49,395	Midea Group Company Limited - A	435,159	0.39
102,300	Mitsubishi Electric Corp.	1,631,481	1.47
350,800	Mitsubishi Ufj Financial Group Inc.	2,292,140	2.06
72,000	Mitsui Chemicals Inc.	2,249,894	2.02
386,700	Mizuho Financial Group Inc.	694,909	0.62
6,300	Murata Manufacturing Company Limited	856,632	0.77

ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド

数量	内容	評価額	純資産に 占める 割合 %
4,540	Netease. com - ADR	1,246,412	1.12
13,011	Netmarble Games Corp.	1,794,360	1.61
25,849	New Oriental Education & Technology Group - ADR	2,229,476	2.00
12,200	Nidec Corp.	1,843,193	1.66
39,356	Oppein Home Group Inc.	882,093	0.79
21,500	Otsuka Holdings Company Limited	1,067,888	0.96
47,600	Pigeon Corp.	2,128,409	1.91
211,500	Ping An Insurance Group Company of China Limited	2,150,506	1.93
26,600	Pola Orbis Holdings Inc.	1,097,048	0.99
50,200	Saizeriya Company Limited	1,407,568	1.27
53,200	Sakata Seed Corp.	1,854,623	1.67
502	Samsung Electronics Company Limited	1,154,797	1.04
207,200	Sands China Limited	1,114,114	1.00
390,108	Shanghai International Airport - A	2,961,339	2.66
17,500	Shin-Etsu Chemical Company Limited	1,785,881	1.61
58,100	Sony Corp.	2,786,008	2.51
18,900	Square Enix Holdings Company Limited	841,556	0.76
43,600	Star Micronics Company Limited	797,413	0.72
39,400	Sunny Optical Technology Group Company Limited	727,431	0.65
105,684	Sydney Airport Finance Company Pty Limited	544,087	0.49
292,000	Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limited	2,443,593	2.20
74,420	Tal Education Group - ADR	2,744,610	2.47
4,526,100	Telekomunikasi Indonesia Tbk Pt	1,183,430	1.06
123,200	Tencent Holdings Limited	6,429,809	5.78
42,000	Tokyo Rope Mfg Company Limited	826,087	0.74
14,500	Toray Industries Inc.	136,203	0.12
46,500	Unicharm Corp.	1,330,441	1.20
99,200	Unilever Indonesia Tbk Pt	356,822	0.32
154,830	Vietnam Dairy Products JSC	1,410,192	1.27
467,020	Vietnam Prosperity JSC	1,339,787	1.20
39,729	Vipshop Holdings Limited	643,610	0.58
19,100	W-Scope Corp.	258,454	0.23
	株式合計	108,599,971	97.66
	取引所上場が認められた有価証券とマネーマーケット商品の合計	108,599,971	97.66
	営業投資有価証券時価評価額	108,599,971	97.66
	現金	2,475,952	2.23
	その他純資産	121,799	0.11
	純資産総額	111,197,722	100.00

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／ミレーアセット垂細垂株式ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2019年7月22日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を18ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年1月22日から2019年7月22日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18	千円 250,003		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年7月22日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

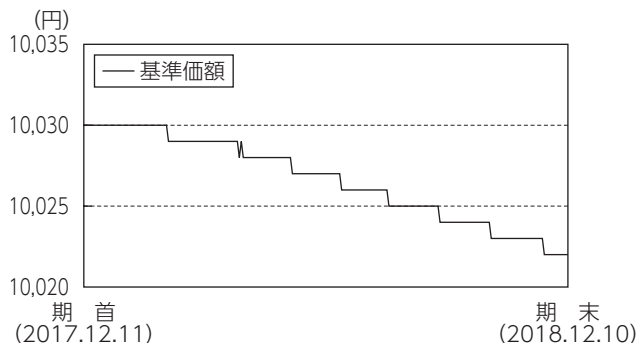
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
(期首)2017年12月11日	円	%	%
	10,030	—	—
12月末	10,030	0.0	—
2018年 1 月末	10,030	0.0	—
2 月末	10,029	△0.0	0.5
3 月末	10,029	△0.0	—
4 月末	10,028	△0.0	—
5 月末	10,027	△0.0	—
6 月末	10,026	△0.0	—
7 月末	10,025	△0.0	—
8 月末	10,025	△0.0	—
9 月末	10,024	△0.1	—
10 月末	10,023	△0.1	—
11 月末	10,022	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なっており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性及資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	570,003	— (570,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
723	国庫短期証券 2018/3/5		220,001
757	国庫短期証券 2018/8/13		200,001
731	国庫短期証券 2018/7/10		150,000

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A－B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1万口当り基準価額(C／D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジード株ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、U S 短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジード株ファンド(為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジード株ファンド(年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジード株ファンド(為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信ー日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信ー日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信ーT O P I Xレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信ーT O P I Xダブルインバース(ー2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信ー日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信ーT O P I Xインバース(ー1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信ーJ P X日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信ーJ P X日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信ーJ P X日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ日本株式ベア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオーS Lトレードー56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンドー成長の権言(つちおと)ー5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワU S 短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジード株ファンド(年1回決算型) ーロボテック(年1回)ー100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) ージャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) ージャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) ージャパン・トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) ージャパン・トリプルリターンズー 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) ージャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。